

令和 6 年度 第 1 回岡崎市図書館交流プラザ運営協議会 会議録

1 日時

令和 6 年 7 月 23 日（火） 午前 10 時 30 分～11 時 30 分

2 会場

図書館交流プラザ 会議室 302

3 出席委員（6 名）

田中 人	委員（山陽学園大学教授）
清松治子	委員（岡崎市図書館協議会委員）
長谷川伸介	委員（株式会社まちづくり岡崎取締役事業統括部長）
西野陽子	委員（りぶらサポータークラブ会員）
諸富智枝	委員（市民公募）
長尾晴香	委員（市民公募）
野澤 琳	委員（市民公募）

4 欠席委員

なし

5 傍聴者

なし

6 説明等のため出席した職員の職・氏名

(1) 社会文化部

加藤健一郎（部長）

ア 多様性社会推進課

太田義男

イ 生涯学習課

岡田武士（課長）

丸本洋乃（副課長）

尾崎孝幸（総務企画係長）

小川正紀（施設管理係長）

中川奏磨

太田隼平

ウ 中央図書館

大村しのぶ（副館長）

(2) 市民安全部

市民協働推進課

鈴木正隆（副課長）

7 次第

(1) 開会あいさつ

(2) 議題

ア 会長選任

イ 運営状況

8 議事（要旨）

会長選任について、委員に意見を求めるも特に意見等がなかったため、事務局案として田中委員を提案し、全会一致で賛成を得る。

続いて、運営状況について資料に基づき事務局による説明、その後質疑応答。

<駐車場利用について>

委員 駐車場利用者の約8割が無料サービス時間内とのことだが、察するに図書館利用者が多くの割合を占めていると思っている。一方で貸館利用者はこの無料サービス時間が活動に影響を及ぼしているのではないか。実際に自身の所属する団体が主催する講座等でも、参加者からは「気になって身が入らない」という声を聴くことがある。駐車場使用料が貴重な運営資金であることは理解しているが、例えば条件によって無料サービスの内容を区別するなど、柔軟な運用に変更することはできないものだろうか。

事務局 貸会議室等で無料サービス時間を超えて活動されていることがあるのは認識しているが、機器の都合もあり、今のところ検討はしていない。

<災害時の避難について>

委員 貸館利用者が講座等を開催していた際に、地震等の災害が発生した場合は、参加者の誘導はどうしたらよいか。

事務局 一時避難場所は城北遊園となっている。避難誘導は職員及び委託業者が行うこととしている。

委員 避難訓練等を行っているか。

事務局 書面での開催としていた。コロナ禍からしばらく経過するため、実地での訓練も検討したい。

<SNSの活用について>

委員 図書館交流プラザ関連のSNSをあまり目にしない。ジャズコレクション展示室やこども図書室の展示などは若年層や子育て世代に非常に需要のある情報に思っている。SNSを使った広報は費用がかからないため、積極的に行ってはどうか。

事務局 SNS等を用いた情報発信は課題だと認識している。積極的に取り組みたい。

委員 SNSの情報発信は公的施設においても重要な意味を持つ。積極的に行ってほしい。

<外国籍の方の図書館利用>について

委員 本の貸し出し、図書カード作成等、外国籍の方の図書館利用はどのようなになっているか。

事務局 現状としては図書を借りた方の国籍を把握する手段はない。他に

は、過去に外国語の読み聞かせを行っていた実績はある。

委員 利用者のニーズをとらえる工夫をするとよいと思う。

＜桜まつりにおける駐車場の予約制導入＞について

委員 3月から4月にかけて駐車場を予約制にしているが、利用者からは反応はあるか。

事務局 図書館交流プラザを普段使いしている方にとっては使いにくくなってしまうことは理解している。

周辺の渋滞緩和のために行っているものであるため、不便をおかけすることになるが、ご理解いただきたい。

＜近隣の街の情報の発信について＞

委員 近隣の街の情報（印刷物やサイネージ）を置いたり掲示してはどうか。QURUWAの回遊性にも良いと思っている。

事務局 コンビニ前にQURUWAの情報ボードが設置されている。近隣の店舗情報の紹介は現在検討していない。

委員 岡崎市はウォーカブルシティでもあると思っている。回遊性が上がることは望ましいと思う。双方良しとなるような仕組みにできるとよい。

以 上